



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年1月31日

上場会社名 タツタ電線株式会社

上場取引所 東

コード番号 5809 URL <https://www.tatsuta.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 宏也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経理財務部長 (氏名) 今井 雅文

TEL 06-6721-3011

四半期報告書提出予定日 2023年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	46,591	3.2	1,356	43.6	1,543	39.8	1,115	36.8
2022年3月期第3四半期	45,139	9.6	2,405	24.5	2,562	21.2	1,766	23.5

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 844百万円 (44.9%) 2022年3月期第3四半期 1,532百万円 (48.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	18.06	
2022年3月期第3四半期	28.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	58,333	47,902	82.1	775.36
2022年3月期	58,654	48,169	82.1	779.68

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 47,902百万円 2022年3月期 48,169百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		9.00		9.00	18.00
2023年3月期		9.00			
2023年3月期(予想)				0.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2023年3月期の配当予想につきましては、2022年12月21日に公表いたしました「2023年3月期配当予想の修正(無配)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,800	4.9	1,850	35.9	2,050	34.2	1,450	37.8	23.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	70,156,394 株	2022年3月期	70,156,394 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	8,375,229 株	2022年3月期	8,375,147 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	61,781,214 株	2022年3月期3Q	61,781,736 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和され、企業収益、設備投資、生産、個人消費等の各面で緩やかな持ち直しの動きが見られました。世界経済も一部の地域において足踏みがみられるものの、同感染症の影響が緩和される中で緩やかな持ち直しが続くことが期待されている状況にあります。しかしながら、世界的な金融引き締めが進む中での金融資本市場の変動や物価上昇、高水準で推移する資源価格や原材料価格、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や中国での経済活動抑制の影響が残る中で、下振れリスクが高まっております。

当社製品の主要原料である銅の国内建値は、当第3四半期連結累計期間の銅国内建値平均価格は前年同期を上回る水準となりました。

この間において、インフラ電線の需要は前年同期を下回る水準で推移する一方で、産業機器電線分野では一部向け先での需要回復が続きました。機能性フィルムの主要用途であるスマートフォンの販売量は世界的な物価上昇、中国の景況悪化・ロックダウン影響等により低迷し、素材需要は、製品販売の低迷に加え半導体その他の部材不足、ユーザーの在庫調整等による影響がありました。

こうした環境のもと、当第3四半期連結累計期間の売上高は46,591百万円（前年同期比3.2%増）と増収、営業利益は1,356百万円（前年同期比43.6%減）、経常利益は1,543百万円（前年同期比39.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,115百万円（前年同期比36.8%減）と減益となりました。

セグメントごとの業績の概況は次のとおりです。

<電線・ケーブル事業セグメント>

インフラ電線は銅価格高止まりによる買い控えの継続および原材料価格高騰による販売価格見直しに伴う競争激化により前年同期の販売量を下回り（前年同期比11.0%減）ました。一方で銅価格が上昇したこと、また産業機器電線では一部向け先での需要回復が続いたこと等により、売上高は32,415百万円（前年同期比8.5%増）となりました。営業利益は販売価格見直し等によりマージン確保に努めましたものの、販売量の減少、原材料価格の高騰、販売価格見直しの浸透遅れおよび銅価変動影響等により168百万円（前年同期比68.8%減）となりました。

<電子材料事業セグメント>

当社主力製品である機能性フィルムの需要は、主要用途であるスマートフォンの販売低迷および中国ロックダウン・半導体等の部材不足・ユーザーの在庫調整等により減少（前年同期比10.1%減）し、売上高は12,438百万円（前年同期比9.4%減）、営業利益は1,650百万円（前年同期比29.9%減）となりました。

<その他事業セグメント>

センサー、医療機器部材、環境分析の各事業は、需要回復が継続し、売上高は1,756百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益は82百万円（前年同期比104.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前期末に比べ320百万円減少し、58,333百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が増加した一方で、棚卸資産や短期貸付金が減少したこと等によるものです。

負債の部は、前期末に比べ53百万円減少し、10,430百万円となりました。これは、未払費用や未払法人税等が減少したこと等によるものです。

純資産の部は、前期末に比べ267百万円減少し、47,902百万円となりました。これは繰延ヘッジ損益が減少したこと等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は前期末と同じく、82.1%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期 通期累計期間(2022年4月1日～2023年3月31日) 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	64,000	2,400	2,600	2,000	32.37円
今回発表予想(B)	62,800	1,850	2,050	1,450	23.47円
増減額(B-A)	△1,200	△550	△550	△550	—
増減率(%)	△1.9%	△22.9%	△21.2%	△27.5%	—
(ご参考)前期実績	59,861	2,885	3,114	2,330	37.72円

(修正の理由)

2023年3月期通期の業績予想につきましては、2022年10月28日の決算発表時に公表した業績予想に対し、売上高は電線・ケーブル事業セグメントおよび電子材料事業セグメントでの減販により減収となる見込みです。営業利益は銅価変動影響および販売環境の悪化により減益となる見込みです。上記に加えて親会社株主に帰属する四半期純利益は公開買付関連費用により減益となる見込みです。

※上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績値は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

なお、当社は、本第3四半期決算短信の提出日現在、株式会社東京証券取引所に上場しております。2022年12月21日付けで公表した「ENEOSホールディングス株式会社の完全子会社(JX金属株式会社)による当社株式に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」でお知らせしましたとおり、各国競争法上のクリアランスの見込みが立ち次第JX金属株式会社は当社株式に対する公開買付けを開始する予定です。スケジュールの詳細については決定次第速やかにお知らせいたします。本公開買付及びその後の一連の取引により当社は公開買付者の完全子会社となり、上場廃止となる予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,389	1,173
受取手形及び売掛金	19,419	21,097
製品	3,957	3,386
仕掛品	6,127	5,970
原材料及び貯蔵品	1,869	2,033
短期貸付金	5,686	5,208
その他	1,235	429
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	39,671	39,286
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	8,305	8,629
機械装置及び運搬具（純額）	3,259	2,869
工具、器具及び備品（純額）	417	382
土地	3,721	3,721
建設仮勘定	522	394
有形固定資産合計	16,225	15,997
無形固定資産		
ソフトウェア	146	139
ソフトウェア仮勘定	9	9
施設利用権	5	4
その他	4	2
無形固定資産合計	165	155
投資その他の資産		
投資有価証券	1,082	1,452
長期前払費用	2	0
繰延税金資産	1,030	1,212
その他	659	401
貸倒引当金	△181	△172
投資その他の資産合計	2,591	2,894
固定資産合計	18,982	19,046
資産合計	58,654	58,333

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,883	4,195
未払金	815	1,338
未払費用	1,518	1,109
未払法人税等	456	64
その他	1,446	1,285
流動負債合計	8,121	7,992
固定負債		
長期借入金	900	900
退職給付に係る負債	1,302	1,365
資産除去債務	68	42
繰延税金負債	1	2
その他	91	127
固定負債合計	2,363	2,437
負債合計	10,484	10,430
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,676	6,676
資本剰余金	4,516	4,516
利益剰余金	38,936	38,940
自己株式	△2,458	△2,459
株主資本合計	47,670	47,674
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	216	230
繰延ヘッジ損益	232	△104
為替換算調整勘定	△63	△25
退職給付に係る調整累計額	113	128
その他の包括利益累計額合計	499	228
純資産合計	48,169	47,902
負債純資産合計	58,654	58,333

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	45,139	46,591
売上原価	35,578	37,936
売上総利益	9,561	8,655
販売費及び一般管理費	7,155	7,298
営業利益	2,405	1,356
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	20	22
為替差益	63	118
補助金収入	31	5
その他	38	45
営業外収益合計	167	203
営業外費用		
支払利息	4	6
災害損失	-	5
その他	5	6
営業外費用合計	10	17
経常利益	2,562	1,543
特別利益		
移転補償金	-	101
投資有価証券売却益	-	0
固定資産売却益	3	0
特別利益合計	3	102
特別損失		
固定資産売却損	-	0
固定資産廃棄損	149	38
公開買付関連費用	-	149
特別損失合計	149	187
税金等調整前四半期純利益	2,416	1,457
法人税、住民税及び事業税	678	386
法人税等調整額	△28	△45
法人税等合計	649	341
四半期純利益	1,766	1,115
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,766	1,115

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,766	1,115
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2	13
繰延ヘッジ損益	△278	△337
為替換算調整勘定	△1	37
退職給付に係る調整額	48	14
その他の包括利益合計	△234	△271
四半期包括利益	1,532	844
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,532	844

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(原価差異の繰延処理)

原材料費及び加工費の原価差異については、流動資産に繰り延べております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,879	13,731	43,611	1,528	45,139	—	45,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	22	22	△22	—
計	29,879	13,731	43,611	1,550	45,161	△22	45,139
セグメント利益	540	2,355	2,895	40	2,935	△530	2,405

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△530百万円は、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△540百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他事業 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
	電線・ ケーブル事業	電子材料事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	32,415	12,438	44,854	1,737	46,591	—	46,591
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	19	19	△19	—
計	32,415	12,438	44,854	1,756	46,610	△19	46,591
セグメント利益	168	1,650	1,819	82	1,901	△545	1,356

(注) 1 「その他事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、センサー&メディカル事業、環境分析事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△545百万円は、セグメント間取引消去9百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△555百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究費用であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。